

運用指針

第2条 -イ

地権者、関係機関などへの提案および協議

地元と協議による
道路構造の見直し(橋梁の一部を土工に見直し)

近畿自動車道 四日市JCT～四日市北JCT間位置図

近畿自動車道名古屋神戸線 四日市JCT～四日市北JCT間の路線概要

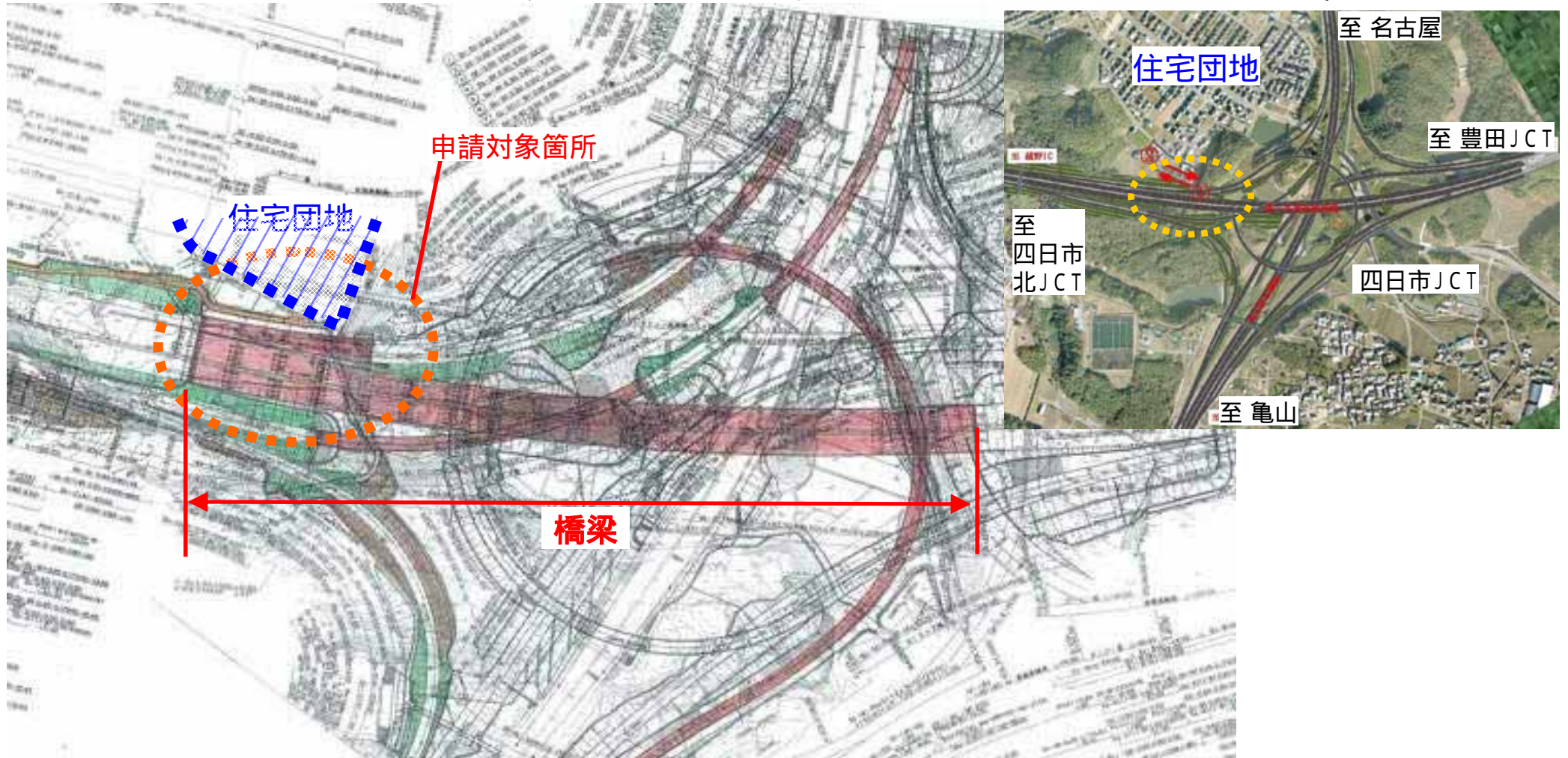
- ・東西の基幹交通を担う大動脈である名神高速に替わる新たな路線である。
- ・新名神開通後の並行する東名阪道の渋滞緩和に期待されている。



橋梁構造を土工構造に見直しの経緯【当初計画】

当初計画における四日市JCT西側部の構造

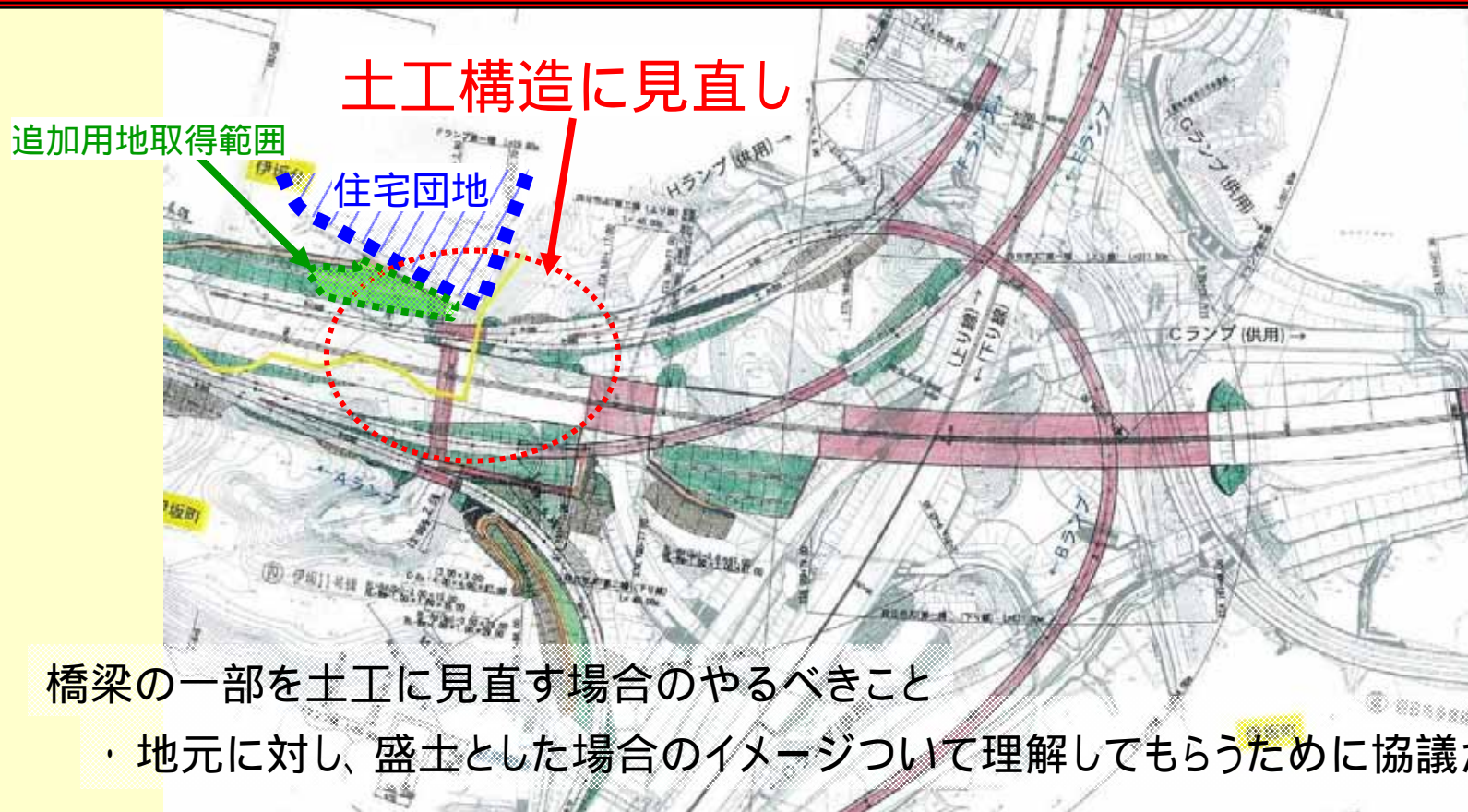
- ・ 当該箇所は、北側に住宅団地が近接していることから、住宅地への圧迫感が懸念されたため橋梁構造として計画。
- ・ 平成9年に地元との設計協議が整い、都市計画決定時と同じ橋梁構造で設計協議確認書を締結。



橋梁構造を土工構造に見直しの検討

環境に配慮しつつ更なるコスト縮減を図るため、**道路構造を再検討**

当該箇所において、橋梁の一部を土工に見直し



橋梁の一部を土工に見直す場合のやるべきこと

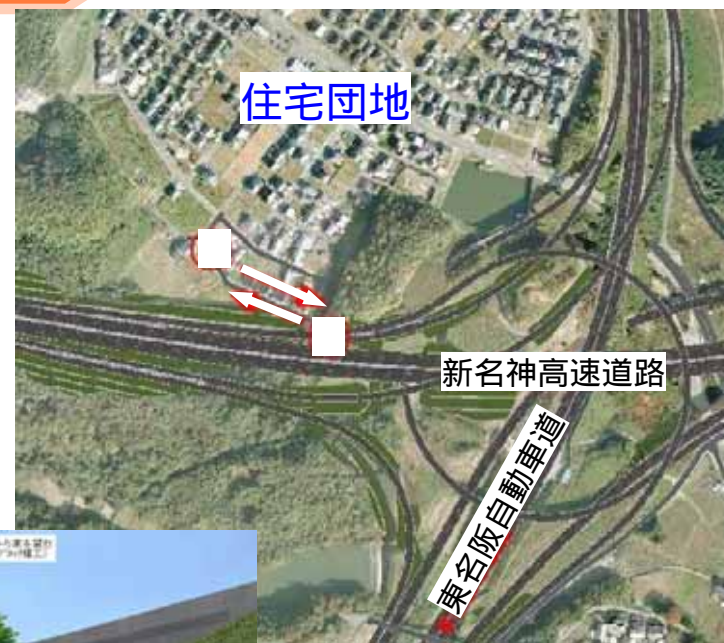
- ・ 地元に対し、盛土とした場合のイメージについて理解してもらうために協議が必要

道路構造の見直しに伴う取組み

【取組内容】地元の了解を得るために協議を実施

地元に対して道路構造を変更することについて協議

- 平成19年 1月 自治会長に橋梁構造見直しの設計図面の再協議を申し入れ
- 平成19年 2月 自治会より質問事項に対する回答要求あり
- 平成19年 2月～平成20年 1月 地元より「土工構造は、住宅団地側への圧迫感が増す印象があり、NEXCOが説明する平面図等ではイメージが湧かない」等の意見が寄せられ、VR(バーチャルリアリティ)パース等を用いて、分かり易く、丁寧に説明し、地元住民の土工構造による住宅団地側への圧迫感に対する不安を払拭
- 平成20年 3月 設計協議に関する調印



VRで準備した資料の例

協議の結果、地元の同意を得られ、当初計画と比較してもコスト縮減が図られる見込み。

道路構造を見直すこと(橋梁の一部を土工に見直し)による工事費の縮減

経営努力要件適合性について

地元と協議を行い、同意を得て、道路構造を見直し(橋梁の一部を土工に見直し)たことは、**会社の主体的な提案および協議**によるものである。

運用指針第2条第1項第1号イに該当

申請された会社の経営努力

道路構造の見直し(橋梁の一部を土工に見直し)することによる工事費の縮減

助成金交付における経営努力要件適合性の認定に関する運用指針(抜粋)

第二条 経営努力要件適合性の認定基準

機構は、助成金交付申請をした高速道路会社の主体的かつ積極的な努力による次の各号に掲げる費用の縮減(適正な質や管理水準を確保したものに限る。)について、経営努力要件適合性の認定を行うものとする。

次に掲げるいずれかにより、道路の計画、設計又は施工方法を変更したことによる費用の縮減。

イ. 地権者、関係機関などへの提案および協議